

＜先週の説教から＞

『ルカ ④ — 幸せを見つけるために！』

武田真治牧師

詩編 103:1~5 ルカ福音書 6:17~21

イエス様は、祈るために山に行かれ、神に祈りながら夜を明かされた上で、朝に弟子たちを呼び集められ、その中から十二人を選ばれました。そして彼らを「使徒」と名付けられたのでした。その後の行動が今日の箇所に記されています。即ち「イエスは彼らと一緒に山から下りて、平らな所にお立ちになった。大勢の弟子とおびたしい民衆が」集まって来た。ここでイエス様は弟子たちを呼び集めておられた「山」の上から、わざわざ「下りて」来られて平地に立たれたことが分かります。これは明らかに、より大勢の弟子達や民衆に“み言葉”を語り伝えようとしておられます。

もし、イエス様の教えが、その使徒たちだけに伝えられる、極秘の教えや特別な免許のようなものであったなら、敢えて「山を下りる」必要はなかったはずです。ここでイエス様は選ばれた、特別な弟子達だけに語られたのではなく、誰にでも聞けるように、聴きたい者みんなに向けて語られたということがイエス様の教えの本質をよく表しているのです。すべての人への“福音＝良き知らせ”なのだということですね。

ただ、その上でイエス様は『貧しい人々は幸いである、神の国はあなたがたのものである。今飢えている人々は、幸いである。あなたがたは満たされる。今泣いている人々は幸いである、あなたがたは笑うようになる。』と語り始められたのでした。この言葉は、この時にイエス様の言葉を聞こうと集まって来ていた人達のことを見て、そう言われている言葉であることが大事です。つまり、ここで「貧しい」「飢えている」「泣いている」人々はここでイエス様の話を聞いている人達を指して言われているということです。だから「今」という言葉が付けられているのだと言えますし、実際、これらの言葉を「さて、目を上げ弟子たちを見て言われた」のでした。まさに、これから「あなたがた」が「神の国を受け継ぎ」「満たされ」「笑うように」なるという“イエス様の約束

の言葉”だと言い得るのです。

どうでしょうか、私たちの信仰はまさに、このイエス様の「あなたがたは神の国を受け継ぎ、満たされ、笑うようになる」という“約束の言葉”を信じ、それに賭けて生きている者ではないでしょうか。決して、これらの言葉は一般的な真理とか、こうあらねばならないというような主義主張、理想を語っておられるのではないのです。

ここでの『幸いである』という言葉の原語は(マカリオイ)という言葉です。これは(祝福された者達)という意味です。私たちの「幸せ」は何より、神様から“祝福を受ける”ことが肝心ではないでしょうか。これなくして、本当の幸せは与えられないのではないのでしょうか。神様から祝福を受けるような生き方をしていければ、きっと「神の国を受け継ぎ、満たされ、笑うようになる」のでしょう。このイエス様の“約束”を信じて、生きて行きたいと願っています。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 6月11日(水) 休会
II. 6月12日(木) 休会

【教勢報告】

主日礼拝 男16 女47 計63
祈祷会 I. 男4 女1 計5 II. 男1 女9 計10
日曜学校 幼稚科6 小中科9 計15

【次週主日礼拝】 6月 15日(日)

聖書: コヘレトの言葉 12:1~2
: 奨励: 「躊躇いなく、摂理だと言おう」
金刺長老
讃美歌: 17, 32, 510, 458, 459, 27

【次週当番表】

司式: 鈴木長老 奏楽: 羽倉 礼拝: 茨木長老
献金: 小林 斉藤 受付: 飯島 吉岡
会堂準備: 木村 小杉 富澤 長田
橋本 北條
看板: 曾我 週報: 吉岡 お花: 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会
礼拝後: ・お茶の会・幼稚園理事会・日曜学校教師会
・オリブの葉編集委員会

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 6月 8日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549